

鹿島製油所における海上出荷設備能力増強工事の完了について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下功夫)は、物流効率化を図るため、昨年10月から、当社子会社である鹿島石油株式会社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:荒川健治)の鹿島製油所(所在地:茨城県神栖市、所長:古山富夫)において、約45億円を投じて海上出荷設備の能力増強工事を進めてまいりましたが、このたび工事が無事完了し、去る10月19日に竣工いたしました。
2. 鹿島製油所においては、昨年9月から約700億円を投じて石油化学製品生産設備の新設工事を行っており、来年1月から当該設備の営業運転を開始する見込みです。
3. 今回の出荷設備増強は、上記の石油化学製品生産設備の完成に伴い、パラキシレン等の石油化学製品を中心に海上出荷量が増えることに対応するためのものです。
4. 具体的には、既存の2つの小型出荷棧橋を撤去し、1万2千トン級の大型船舶が着棧できる棧橋を新設するとともに、石油化学製品および燃料油の関連設備(出荷ポンプ、出荷配管、ローディングアーム等)を増設いたしました。
5. 今回の施策により、鹿島製油所においては、大型船舶の利用による輸送の効率化および需要動向に柔軟に対応できる出荷体制となります。

以上

● 【参考資料】増強工事前後の出荷棧橋(写真)



増強工事前の出荷棧橋



増強工事後の出荷棧橋